

コンテンツ・マネジメント分科会セッション

◆ AI革命と知的財産: 価値の再定義と展開 ◆

【講演者】

1. 久保 雅一 (クボ マサカズ) 氏

株式会社小学館 取締役

株式会社小学館集英社プロダクション常務取締役

株式会社小学館ミュージック&デジタルエンタテイ

メント代表取締役社長

／本学会 副会長／分科会担当理事



2. 岩波 邦明 (イワナミ クニアキ) 氏

1987年生。医師、東京大学医学部卒業。ルイ・イーグル(株)代表取締役。センター試験では881/900点を獲得し、東京大学理科3類に現役合格。IQ人口上位2%によって構成される組織「MENSA」会員。【ゴースト暗算】シリーズ(小学館、シリーズ66万部)を始め、著書32冊。iOS/Android/PCのナゾトキゲーム【名探偵コナンゼミ ナゾトキ】のナゾ開発者であり、Nintendo Switch/3DS【レイトン ミステリージャーニー】シリーズのナゾ開発者。



タカラトミーと共同にて計算トレーニングのゲーム機「ゴースト暗算トレーナー」を発売。幼少時から算数・数学にのめり込み、日本数学オリンピックの決勝に2度出場(中3、高2)。国際ライセンス協会(LES)主催のビジネスプランコンテストでは日本代表となり、全編英語のプレゼンにてアジア準優勝。TV出演は「おはスタ」「情熱大陸」「世界一受けたい授業」など多数、ほか新聞・雑誌などメディア出演歴多数。

2023年2月、AIとプログラミングをゼロから学ぼうと一念発起し、Pythonの一番最初の基礎である”Hello World”からプログラミングを学び始める。それから3か月後の2023年5月、Stanford大学院のAIの授業の課題にて、岩波がオリジナルで作成したAIのPythonプログラムがStanfordのクラス内1位を獲得(パックマンのゲームを最も賢くプレイするAIを作り、その得点を競う課題)。本クラスはGAFSA, Salesforce, Bloombergなど名だたる大企業のリードエンジニアやデータサイエンティスト達の百数十人で構成されており、その中で1位を獲得した功績が認められ、Stanford大学院のAIのコースに正式入学を果たす(Stanford AI Graduate Course)。

コース全科目満点を獲得し、Stanfordのクラスメイトからは「Whiz kid」(神童)とあだ名される。現在は「生成AI」「AI会話アシスタント技術」などStanfordの5つのコースと、東大のデータサイエンティスト養成コースの計6コースを同時に受講しており、AIに関わる大きな事業を起すべく、最先端の知識と技術を精力的に学んでいる。

コンテンツ・マネジメント分科会

◆ AI 革命と知的財産: 価値の再定義と展開 ◆

3. 関 真也 (セキ マサヤ) 氏

関真也法律事務所 弁護士・NY 州弁護士、
日本バーチャルリアリティ学会認定上級 VR 技術者
／分科会幹事



エンタテインメント分野 (漫画・アニメ・映画・ゲーム・音楽・芸能・インフルエンサー等)、ファッション分野 (アパレル企業、デザイナー、小売・EC その他の流通、ファッションモデル等)、先端テクノロジー分野 (XR・メタバース、VTuber、AI、web3・ブロックチェーン・NFT、バーチャルファッション) 等を中心に扱う。経産省「Web3.0 時代におけるクリエイターエコノミーの創出に係る研究会」委員、経産省・ファッション未来研究会「ファッションローWG」委員。「仮想空間に関する知的財産の保護の状況に関する調査研究 (令和 4 年度産業財産権制度各国比較調査研究等事業)」アドバイザー等。XR コンソーシアム 監事／社会的課題 WG・メタバース WG・3D スキャン WG 各座長、日本商標協会理事・法制度研究部会長、日本知財学会コンテンツ・マネジメント分科会幹事、ファッションビジネス学会ファッションロー研究部会長。東海大学総合社会科学研究所客員講師の他、東京工業大学等で講師を歴任。主な著書として「ビジネスのためのメタバース入門～メタバース・リアル・オンラインの選択と法実務」(共編著、商事法務、2023 年)、「XR・メタバースの知財法務」(中央経済社、2022 年)、「ファッションロー」(勁草書房、2017 年)、「ビジネスのためのメタバース入門～メタバース・リアル・オンラインの選択と法実務～」商事法務等がある。

【概要】

2023 年度日本知財学会シンポジウムの企画はコンテンツ・マネジメント分科会が担当しました。シンポジウムのタイトルは「生成 AI による価値創造と知的財産」でしたが、このセッションはその続編企画の一つに位置付けられます。生成 AI 技術の進化がコンテンツ実務に大きな影響を与え、ビジネスの現場でも変化が進んでいます。

コンテンツビジネスに AI がどのような影響を与えているかというトピックを分科会の担当理事である久保雅一がコメントします。さらに、岩波氏は米国における AI ビジネスの最新動向や人材育成の現状に焦点を当て、世界的に評価されているスタンフォード大学の事例を含めて、自身の経験をもとに詳細に解説します。また、米国の知的財産実務に精通した関氏が、AI と知的財産に関する最新の課題や情報を提供します。

このセッションでは、パネルのメンバーと生成 AI がもたらす新たなビジネスチャンスや知的財産に関する重要なトピックについて議論します。